

議事概要（Q:質問、A:回答）

Q 1 意見書と本日の質疑の関係を確認します。質問が都市計画に諮れるときに、意見として反映されますか。意見書に書かないと反映されないのですか。

A 1 都市計画として、意見を汲まなければおかしいものは反映します。「理由を説明し出来ません。」と回答するものについては反映できません。都市計画の内容については、都市計画審議会で諮ります。

工事・補償は都市計画審議会で審議されるものではないため、今後の工事説明会等の機会にお話しします。

Q 2 運河東線から小栗橋に入るところが鋭角になります。

A 2 軌跡を描いてトラック等が曲がれる事を確認しています。

Q 3 荒子町線の既存の信号がなくなると、右折できなくなり不便になります。

A 3 既存と新設の信号間隔が 70~80m と非常に短くなり、信号誤認の恐れがあるため、警察と協議した結果として、新設信号の1つとします。

小栗橋線の新設信号交差点からの右折をお願いします。

Q 4 都市計画を廃止するとどうなりますか。廃止される横堀町の区間の、歩道と車道の間ブロックが崩れてかなり危険な状態です。

A 4 都市計画を廃止すると、現況の道路のままであり拡幅整備を行いません。道路管理は土木事務所で必要に応じて、壊れた個所の補修等行いますので、本日の意見を、土木事務所にお伝えします。

Q 5 先回の計画変更から、1・2年も経って何故、今、計画を出すのですか。測量して大きな図面で、道路計画線の寸法的な説明をしてください。

A 5 1・2年前と言われるのは、愛知町の方の都市計画変更の事と思われます。荒子町線よりも西側は廃止であったので、先行して説明会を行いました。

詳細な寸法等は、都市計画変更を行い、都市計画線で測量し、立会して区域を決め、杭を入れ、確定的なものをお伝えします。

Q 6 小栗橋の計画線が見直され、こういったスケジュール感で、どこ調整し、どれぐらい補償していただけるのか教えて下さい。

A 6 今後の予定は、都市計画変更を年度末迄に行い、来年度、測量に入る前に測量説明会を行い、立会を含め現地測量し、事業認可を県から受け、令和6年に事業に入ります。

事業段階から用地交渉を始め、建物は建物調査を行い、全国一律の補償基準に基づいて補償します。工事に入る前に、工事説明会を行いますので、その機会にお話させていただきます。現状では、基準に沿って、その時点での価値に沿うような補償をさせていただくという事でご理解願います。

Q7 第2次整備プログラムのパンフレットの14ページの小栗橋線は、荒子町線の先の西側へは延伸する予定がありますか。

A7 パンフレット図③の部分は平成30年に廃止しており計画はありません。

Q8 小栗橋は勾配がきついのですが、改善する余地はありませんか。

中川運河や堀川、松重閘門付近を整備し遊覧船を通す、としています。遊覧船が引っかけたら、費用が無駄になりますかどう考えていますか。

A8 橋と現地の勾配を合わせ、運河の計画とも合うように調整します。

Q9 日置中野新町線を通りクランクになって、2つの信号での経路となりますが、安全面で大丈夫ですか。その箇所での事故はどのくらいありますか。

A9 ここは、現状から変わりません。交通事故は、過去の直近の3年間において、それぞれの交差点で車同士の事故が1件ずつで、特に多いということではなく、現状でも安全上非常に問題だとは考えておりません。

Q10 JRと名鉄の高架は低いが、大型トラックは通行禁止にするのですか。

既にトラック等がこすっており、高架や地下にしないと解決不可能で、都市計画に加味されていないので、欠陥の都市計画だと指摘します。

A10 高架下については、現状でも低く建築限界に足りていませんが、都市計画の位置付けを残すことで、将来的に新幹線・JR等の架け替えに合わせて、高さを確保します。鉄道事業者の架け替え計画の具体化の際に、協議しますので、ご理解願います。

Q11 測量等の準備期間を終えて、工事はどのぐらいから始まりますか。

A11 今後のスケジュールは、来年度測量し、令和6年に事業着手し、用地買収になります。この場合は、小栗橋を架け替え、月島町のところも整備させていただきます。荒子町線までつなぎます。橋の工事は、仮橋を設置し、現在の小栗橋を撤去します。仮橋を通行していただいている間に、新たな橋を整備し仮橋を撤去しますので、橋の工事だけで事業着手から、概ね10年を想定しています。10年後の橋の開通に合わせて月島町の方も荒子町線まで、開

通していきますので、用地買収は、再来年の事業着手の段階から、工事に間に合うように全部の土地を順次補償させていただいて、用地を買わせていただくこととなります。

Q12 廃止になる小栗橋線沿線の人は税金があがるのか。

A12 実態として税金は上がりますが、減免措置がなくなり、元に戻るという事で、ご理解願います。

Q13 この都市計画を廃止する区間は狭くて危ないので、一方通行にできませんか。車は便利ですが、歩行者にとっては危ないと思う所です。

A13 一方通行は、地元からの意見等により、警察との調整になりますので、一方通行化については、言い切れなく、申し訳ありません。

Q14 変更前は広い道路の計画であったが、変更後は橋自体がカーブになり、カーブから 14.54mの現況道路へ出ていきます。変更することで、横堀町のカーブのところが危なくないかと思えます。

A14 小栗橋から東側の 14.54m の現況道路に行くに従い、道路幅員は狭くなりますが、歩道が 2.5m以上あり車道は 2 車線ある運河沿いの現況道路を活用する事で、本市の道路整備予算を効率的に使って整備していきます。

安全面については、車道の連続性を確認しておりカーブも問題ありません。歩道は、橋の上は 3m～3.3mで整備し、14.54mの現況道路は 2.6～2.8m で 50 cm程狭くなりますが、歩行者の安全は確保できています。

Q15 公共から借りている土地で建物がかかりますが、どのような見解ですか。

A15 建物の補償をするとともに、土地も用地交渉の際にお話しします。

Q16 現状の信号交差点は廃止するしか案がなかったのか、残す案もあったのか、信号交差点を残すことが本当に難しいのか確認します。

A16 既存の信号交差点を残せないか検討しましたが、交通管理者との協議の中で、信号が近すぎると危険であり、ここに 2 つの信号交差点は困難と判断しました。他にも近いところがありますが、6 車線の道路で、このように近いところはかなり厳しく、交通管理者と調整し了解を得るのは困難です。

Q17 本日説明したスライドをデータでいただきたい。質疑応答された議事録もデータでいただきたいので、お願いします。

A17 本日の説明内容及び議事録は、用意できましたらホームページに掲載し

ます。そこからダウンロードをお願いします。

Q18 家が3分の1かかっていますが、1軒としてみてもらえるのですか。

A18 個別の補償の内容については、調査・測量しないと軽率にお答え出来ませんので、今後の、測量説明会、工事説明会でご説明させていただきます。

Q19 小栗橋から6車線の荒子町線につなげるメリット・必要性を教えてください。橋がかかった頃に、月島町の部分の計画を廃止する提案がされる事や、交差点が不便になると思い、月島町の区間のメリットも教えてください。

A19 都市計画道路には、広い幹線道路と幹線道路をつなぐ補助幹線の役割を担う道路があり、幹線道路との間を500m間隔の補助幹線でつないで交通を円滑に処理していくことが都市計画の基本的な考えです。

小栗橋線は2車線の補助幹線道路であり、6車線の荒子町線と山王線の幹線道路をつなぐという役割があります。

岩井町線は、現在でも名駅方面へ行く交通でかなり渋滞していますが、今後リニア開通後、さらに増えてくるという予測もあります。その渋滞がこれ以上ひどくならないように、小栗橋線を、山王線と荒子町線までの都市計画道路ネットワークとしてつなぎます。

今も荒子町線に出られる道路に信号もありますが、歩道のない狭い道路であり、都市計画道路ネットワークでつなぐにあたり、『橋ができたから、月島町の所はやめる。』とは考えられません。

Q20 小栗橋から荒子町線につなぐことは、西側の方は計画廃止になっており、小栗橋を渡って東側の道も現行のままであり、幹線道路と幹線道路をつなぐというのは、昔の計画の話であって今の計画で考える必要はないと思います。小栗橋は、架け替える必要がありますが、実際の交通量は運河沿いを走っても少なく、小栗橋から東側もそんなに多くなく、渋滞はありません。

荒子町線につなげて信号交差点を作り、南側の信号交差点を廃止すると、愛知町に住んでいる方は、利便性が損なわれます。また、西側の愛知小学校から出る道幅はすごく狭いです。

都市計画は、道路交通、車の通行はもちろんですが、地域住民の利便性も考えて計画すべきで、古い橋だけ架け替えれば都市計画は十分成り立つと思います。

Q20' 小栗橋の西の道路は、S字状になっていて、スピードを出してスリップ

して事故を起こします。運河の道路のカーブも、考えてください。運河沿いの土地は名古屋市と愛知県の共有地で自由にできるはずですが、同意を取るにも、計画案を押し通そうという考えに思えます。

A 20,20' 小栗橋の西から荒子町線までの区間は、昔からある計画だからというだけで、必要だという事ではありません。日置中野新町線より東側の現況道路をそのまま直進できますし、都市計画道路として連続して露橋線とする部分も道路として使えます。都市計画道路で幹線道路の山王線から荒子町線まで出られるネットワークを造ることは重要です。

将来的な避難路、延焼遮断、緊急輸送道路で活用するため、広幅員道路が必要ですので、ご理解願います。